



# Cisco Prime Collaboration Assurance を開始する

ここで紹介する例は、次のとおりです。

- [Cisco Prime Collaboration Assurance を開始する](#) (1 ページ)
- [Cisco Prime Collaboration Analytics の開始](#) (6 ページ)

## Cisco Prime Collaboration Assurance を開始する

Cisco Prime Collaboration Assurance は次のモードで利用できます。

- Cisco Prime Collaboration Assurance Enterprise モード
- Cisco Prime Collaboration Assurance MSP モード

。



(注) 次のセクションで説明するタスクを開始する前に、『[Cisco Prime Collaboration Assurance and Analytics インストールおよびアップグレードガイド](#)』の「*Prime Collaboration Assurance* のインストール」セクションで説明されているタスクを完了する必要があります。

## Cisco Prime Collaboration Assurance を開始する

Cisco Prime Collaboration Assurance をインストールした後、次の表に示すタスクを実行する必要があります。

表 1: Cisco Prime Collaboration Assurance を開始する

アップグレード前	アップグレード後
	ホーム > 開始

アップグレード前	アップグレード後
ホーム > ネットワーク正常性の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>• OPSView</li> <li>• コール品質</li> <li>• アラーム</li> <li>• パフォーマンス</li> <li>• Contact Center トポロジ</li> </ul>	ネットワーク正常性の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>• OpsView</li> <li>• コール品質</li> <li>• アラーム</li> <li>• パフォーマンス</li> <li>• Contact Center トポロジ</li> </ul>
ネットワーク正常性の概要	MSP モードでは、[顧客の概要 (Customer Summary)]のみを利用できます。
	モニタ <ul style="list-style-type: none"> <li>• アラームおよびイベント               <ul style="list-style-type: none"> <li>• アラームの概要</li> <li>• アラーム</li> <li>• イベント</li> </ul> </li> <li>• 使用率モニタ               <ul style="list-style-type: none"> <li>• T1/E1 トランク</li> <li>• CUBE SIP トランク</li> <li>• UCM SIP トランク</li> <li>• ルートグループ</li> <li>• トランク グループ</li> <li>• Location CAC 帯域幅</li> <li>• 会議デバイス</li> <li>• Conductor Bridge Pool</li> <li>• TelePresence エンドポイント</li> <li>• ライセンスの使用状況 (License Usage)</li> </ul> </li> </ul>
コール品質	NA

アップグレード前	アップグレード後
インベントリ (Inventory) [インベントリ (Inventory)] > [UC デバイスの検索 (UC Device Search)]	<b>Inventory</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• インベントリ管理</li> <li>• デバイス ステータスの概要</li> <li>• UC デバイスの検索</li> <li>• クラスタ デバイス</li> <li>• 検出スケジュール</li> </ul> <b>Cisco Prime Collaboration Assurance 12.1 Service Pack 3 の場合</b> Cluster デバイスの検出スケジュール <ul style="list-style-type: none"> <li>• SNMP MIB クエリ ツール</li> </ul>
[診断 (Diagnose)] > [会議の診断 (Conference Diagnostics)] 診断 > SIP Call Flow Analyzer [診断 (Diagnose)] > [デバイス ログ コレクター (Device Log Collector)]	<b>診断</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• エンドポイントの診断</li> <li>• 会議の診断</li> <li>• SIP Call Flow Analyzer</li> <li>• CME 診断</li> <li>• Device Log Collector</li> </ul>
<b>模擬テスト</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• UC Application Synthetic Test</li> <li>• Audio Phone Features Test</li> <li>• IP SLA Voice Test</li> <li>• Video Test</li> <li>• Phone Status Test</li> <li>• Batch Test</li> </ul>	<b>模擬テスト</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• UC Application Synthetic Test</li> <li>• Audio Phone Features Test</li> <li>• IP SLA Voice Test</li> <li>• Video Test</li> <li>• Phone Status Test</li> <li>• Batch Test</li> </ul>

アップグレード前	アップグレード後
レポート <ul style="list-style-type: none"> <li>• 管理レポート</li> <li>• CUCM レポートの起動</li> <li>• その他のレポート</li> <li>• 会議レポート</li> <li>• TelePresence エンドポイント レポート</li> <li>• NAM &amp; Sensor レポート</li> <li>• CDR &amp; CMR レポート</li> <li>• スケジュール済みレポート</li> </ul>	レポート <ul style="list-style-type: none"> <li>• CDR および CMR レポート</li> <li>• NAM &amp; Sensor レポート</li> <li>• 会議レポート</li> <li>• TelePresence エンドポイント レポート</li> <li>• スケジュール済みレポート</li> <li>• 管理レポート</li> <li>• CUCM レポートの起動</li> <li>• その他のレポート</li> </ul>
	分析 <ul style="list-style-type: none"> <li>• テクノロジー導入</li> <li>• 資産使用状況</li> <li>• トラフィック分析</li> <li>• キャパシティ分析</li> <li>• サービス エクスペリエンス</li> <li>• UC システム パフォーマンス</li> <li>• ビデオ会議の分析</li> <li>• ライセンスの使用状況</li> <li>• マイ ダッシュボード</li> <li>• カスタム レポート ジェネレータ</li> <li>• スケジュール済みレポート</li> </ul>
<b>Assurance レポート &gt; 会議レポート</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 会議の概要レポート</li> <li>• 会議の詳細レポート</li> </ul>	

アップグレード前	アップグレード後
アラーム & レポート管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>• イベントのカスタマイズ</li> <li>• アラーム &amp; イベント用の電子メール設定</li> <li>• 通知のセットアップ</li> <li>• CDR ソース設定</li> <li>• CDR 分析設定</li> <li>• 1040 センサーのセットアップ</li> <li>• ポーリング設定</li> <li>• Customer Management</li> </ul>	アラーム & レポート管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>• イベントのカスタマイズ</li> <li>• アラーム &amp; イベント用の電子メール設定</li> <li>• 通知のセットアップ</li> <li>• CDR 分析設定</li> <li>• 1040 センサーのセットアップ</li> <li>• 会議パスのしきい値設定</li> <li>• ポーリング設定</li> <li>• APIC-EM &amp; Prime Integration</li> </ul> <p>Cisco Prime Collaboration Assurance 12.1 Service Pack 3 の場合</p> <p>APIC-EM &amp; NAM</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Prime Collaboration Assurance 12.1 Service Pack 2 以前の場合</li> </ul> <p>CDR ソース設定</p> <p>MSP モードでは、[顧客管理 (Customer Management)] のみを利用できます。</p>
システム管理 > ドメインのセットアップ	
	分析管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>• sFTP 設定</li> <li>• グループ管理</li> <li>• トランク トラフィックの最大キャパシティ設定</li> </ul> <p>MSP モードでは、[顧客ロゴのアップロード (Upload Customer Logo)] のみを利用できます。</p>

アップグレード前	アップグレード後
システム管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ライセンス管理</li> <li>• ユーザ管理</li> <li>• [LDAP Settings]</li> <li>• シングル サインオン</li> <li>• バックアップ設定</li> <li>• ログ管理</li> <li>• ジョブ管理</li> <li>• 証明書の管理</li> </ul>	システム管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ドメインのセットアップ</li> <li>• ライセンス管理</li> <li>• ユーザ管理</li> <li>• [LDAP Settings]</li> <li>• Cisco Prime Collaboration Assurance 12.1 Service Pack 3 の場合 セキュリティ設定</li> <li>• シングル サインオン</li> <li>• バックアップ設定</li> <li>• ログ管理</li> <li>• ジョブ管理</li> <li>• 証明書の管理</li> </ul>
	UC オペレーション ダッシュボード <ul style="list-style-type: none"> <li>• UC オペレーション ダッシュボード</li> <li>• レスポンド設定</li> </ul>
	サービスビリティ

## Cisco Prime Collaboration Analytics の開始

Table 1 には、Cisco Prime Collaboration Analytics ダッシュボードの使用シナリオが示されています。

表 2: Cisco Prime Collaboration Analytics ダッシュボードの開始

使用シナリオ	ダッシュレットの名前（分析からのナビゲーション）
--------	--------------------------

音声専用の電話機、ビデオフォン、および TelePresence エンドポイントによる導入の進行状況を追跡します。	<p><b>Cisco Prime Collaboration リリース 11.1 以前の場合</b></p> <p>エンドポイント モデルによる分配の導入（テクノロジーの導入）</p> <p><b>Cisco Prime Collaboration リリース 11.5 以降の場合</b></p> <p>エンドポイント導入の概要（テクノロジーの導入）</p>
これまでの投資を検証し、将来の投資決定を行うためのエンドポイントの使用方法について理解します。	<ul style="list-style-type: none"> <li> <p><b>Cisco Prime Collaboration リリース 11.1 以前の場合</b></p> <p>エンドポイント モデルによるコールの分配（テクノロジーの導入）</p> <p><b>Cisco Prime Collaboration リリース 11.5 以降の場合</b></p> <p>エンドポイント モデルによるコール ボリューム（テクノロジーの導入）</p> </li> <li> <p><b>Cisco Prime Collaboration リリース 11.1 以前の場合</b></p> <p>エンドポイント タイプによるコールの分配（テクノロジーの導入）</p> <p><b>Cisco Prime Collaboration リリース 11.5 以降の場合</b></p> <p>エンドポイント タイプによるコール ボリューム（テクノロジーの導入）</p> </li> </ul>
使用頻度が高いまたは低いエンドポイントの数をカウントします。	テクノロジーの使用（テクノロジーの導入）
効果的に組織全体でリソースを計画および割り当てるために、使用頻度が最も低いエンドポイントを特定します。	使用頻度が最も低いエンドポイントタイプ（資産の使用率）
スケジュールされたセッションに参加しなかったエンドポイントを追跡します。	<p><b>Cisco Prime Collaboration Assurance 11.0 以前の場合</b></p> <p>不参加のビデオ会議（資産の使用率）</p> <p><b>Cisco Prime Collaboration リリース 11.1 以降の場合</b></p> <p>No Show Video TelePresence エンドポイント</p>

使用率が最も高いエンドポイントと最も低いエンドポイントを特定することができます。	ビデオ テレプレゼンス ルームの使用率（資産の使用率）
Cisco Prime Collaboration Assurance 管理による導入で、コールの最大発信回数または発信時間の順に並べ替えられた上位 N 個のディレクトリ番号を見つけます。	上位 N の発信者（トラフィック分析）
Cisco Prime Collaboration Assurance 管理による導入で、コールの最大受信回数または通話時間が最も長い順に並べ替えられた上位 N 個のディレクトリ番号を見つけます。	かけた番号の上位 N 位（トラフィック分析）
着信および発信オフネット コール数が最も高い拠点を検索します。	上位 N のオフネット トラフィック拠点（トラフィック分析）
発信および受信コール数が最も高い上位 N の拠点を特定します。	上位 N のコール トラフィック 拠点（トラフィック分析）
サイト、拠点、エンドポイント、クラスタ、デバイスプール間のさまざまなタイプのコールの傾向を把握します。	コールトラフィック分析（トラフィック分析）
組織全体にわたって使用を最適化するために、TelePresence 会議デバイスの使用状況を追跡します。	会議デバイスのビデオ使用率（キャパシティ分析）
失敗したコール数が最も高い拠点の Call Admission Control (CAC) 帯域幅使用率を考察することにより、各拠点に割り当てられる帯域幅を評価します。	拠点 CAC の帯域幅使用率（キャパシティ分析）
組織全体にわたって、トランクおよびルートグループの使用率を評価し、最適化します。また、カスタム トランクやルートグループの使用率を定義および追跡できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>トランク使用率（キャパシティ分析）</li> <li>ルート グループの使用率（キャパシティ分析）</li> </ul>
トランクとルート グループの Average Bouncing Busy Hour (ABBH) トラフィックを測定した後で、キャパシティ（回線）について決定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>煩雑時のトランク キャパシティ（キャパシティ分析）</li> <li>煩雑時のルート キャパシティ（キャパシティ分析）</li> </ul>
ゲートウェイの DSP リソースの最適化	DSP 使用率（キャパシティ分析）
組織内の個人が経験したサービス品質を分析します。	サービス エクスペリエンスの分配（サービスエクスペリエンス）



サービス品質問題が発生した上位 N のエンドポイントを指定します。	<b>Cisco Prime Collaboration リリース 11.1 以前の場合</b>  サービス品質に問題があるエンドポイント (サービス エクスペリエンス)  <b>Cisco Prime Collaboration リリース 11.5 以降の場合</b>  コール品質に問題があるエンドポイント (サービス エクスペリエンス)
組織内のコールの失敗の傾向を分析し、コール失敗発生率が高い拠点を特定します。	上位 N のコール失敗発生拠点 (サービス エクスペリエンス)
サービス品質問題があるユーザを識別します。	サービス品質問題があるユーザ (サービス エクスペリエンス)
組織の UC アプリケーションのシステム パフォーマンスを分析します。	UC システム パフォーマンス
会議の統計情報の視覚化 (会議の数と期間)	<ul style="list-style-type: none"><li>• ビデオ会議の統計 (ビデオ会議)</li><li>• 上位 N のビデオ会議の拠点 (ビデオ会議)</li></ul>

